

学校だより

No. 8

1月9日(火)から3学期が始まり、あっという間に3週間が経ちました。3学期早々に、小学部ではお正月遊びを友達と一緒に楽しみました。中学部では真剣な表情で「書き初め」に挑戦しました。高等部では一人一人が目標を立てて就業体験(現場実習、校内実習)に取り組みました。毎朝、寒い日が続いています。児童生徒は寒さに負けずに気持ちを切り替えて頑張っています。

【大谷翔平選手から野球グローブが届きました】

メジャーリーガーの大谷翔平選手は野球グローブを全国の小学校に寄付しています。1月12日(金)に本校に届きました。グローブを披露したとき、児童生徒や教職員から歓声があがりました。早速、グローブをはめて記念写真を撮ったクラスもありました。「野球に興味をもってもらえたら」という大谷選手の思いがきっと伝わると思います。グローブに添えられたメッセージの一文を紹介します。「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルになることを望んでいます。」

【令和3年度卒業生 20歳を祝う会】

1月13日(土)に「同窓会総会」と「令和3年度卒業生の20歳を祝う会」を高等部校舎の集会室にて行いました。20歳を迎えた卒業生やご家族様、同窓会会員様、学校関係の皆様(在校時の校長先生や教頭先生、高等部の先生)にお越しいただきました。久しぶりの再会を喜び合ったり、とても懐かしそうに話をしたりする姿が印象的でした。20歳を迎えた皆様から一人ずつ近況報告をしていただき、健康に気を付けて一生懸命働いている様子が分かりました。「思い出のスライドショー」では、高等部時代の学習活動や学校行事の様子を懐かしそうに視聴されていました。学校関係の皆様からの多数のメッセージには心温まるお祝いの言葉や励ましの言葉が綴られていました。現在の児童生徒が20歳になったら、どんな大人になっているのか、そんなことを想像しながら参加していました。

【小学部】

1月は、各学年でお正月ならではの活動に取り組みました。福笑いやだるま落とし、凧揚げ、模型を使ってのもちつき遊びなど、様々な遊びで楽しく遊ぶことができました。書き初めや絵馬作りなどにも取り組み、個性豊かな作品ができました。

また、大谷翔平選手からグローブが届き、児童に紹介しました。初めてグローブに触る児童もいましたが、手にはめてみたり、先生と一緒にキャッチボールをしたりと、それぞれの楽しみ方でグローブに触れることができました。

体育の学習では、ボール運動に取り組んでいます。早速、大谷選手から贈られたグローブを使ってキャッチボールをしたり、ティーボールセットを使ってバットで打つ練習をしたりしました。小学部の児童にとって、道具を使って運動するということは難しさもありますが、徐々に慣れて楽しく取り組めるようになっていきます。

これからも、グローブなどの道具を大切に使いながら、楽しく身体を動かせるよう支援していきます。



【中学部】

3学期がスタートしました。

1月9日(火)に始業式を行い、3学期がスタートしました。冬休み中は、放課後等デイサービスで様々な行事を体験したり、親戚の家に泊まりに行ったりと、充実した生活を送った生徒が多かったようです。次の日から普段通りの授業が始まり、生徒たちは冬の寒さもなんのその、元気に活動しています。各クラスの授業の様子を紹介します。



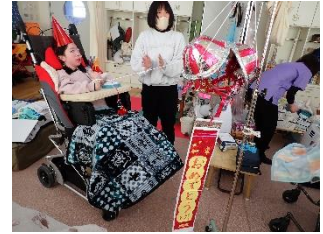
1年1組



2年1組



3年1組



1、3年2組

1年1組は、養護教諭の樋口先生を招いて、「食事」についての授業を行いました。「適切な食事の量」や「どんなものを食べるとよいのか」などについて、学習しました。2年1組は、1月19日(金)に校外学習で群馬県立歴史博物館に行ってきました。埴輪の展示コーナーでは一番好きな埴輪の写真を撮る、昔の道具の展示コーナーでは何に使う道具なのか調べる、などの課題に取り組んできました。3年1組は、書き初めをしました。言葉の意味や漢字の印象から自分の書きたい四字熟語を選んで書きました。1、3年2組は、「誕生会」をしました。冬休み中に誕生日を迎えた友達のお祝いをしました。

【高等部】

1月9日(火)に始業式を迎え、高等部の3学期が始まりました。高等部の1月は、いつも就業体験一色です!1月15日(月)~26日(金)の2週間、今年度3回目の就業体験にそれぞれの立場から真剣に取り組みました。

1年生は1、2学期の実習と比べると、余裕が感じられるほど落ち着いて取り組むことができました。日々の作業学習を通して、働くために必要な力を理解し、体力的にも精神的にも飛躍的に向上したことの現れだと思います。

2年生は自分の進路を見据え、全員が現場実習に出掛けました。高等部では「進路の自己選択・自己決定」を目指し進路指導を進めています。どれだけ主体的に進路を選択することができたかが、そのまま仕事の定着率に直結すると考えるためです。2年生も今まさに自分の適性や興味・関心を探り、自らの進路を模索しているところです。

3年生はこれまでの就業体験の締めくくりとして、後輩たちの立派な手本となり取り組みました。自分たちの背中を見せ憧れさせることで、後輩たちにとっても良い刺激を与えてくれました。これまでに積み重ねてきた努力が実を結び、進路先でもきっと実力を存分に発揮できることでしょう。

